

就業支援担当者研修のモデルカリキュラム

【現行】

	科目	内容	形態	分
1	障害者雇用の現状及び障害者雇用施策の概要と支援センターの役割	①障害者雇用の現状と障害者雇用施策の概要 ②障害者就業・生活支援センターの位置づけ、機能、役割等	講義	120

2	障害特性と職業的課題	①知的障害・発達障害の障害特性と職業的課題	講義	60
		②障害者就業・生活支援センターにおける支援方法等(事例紹介)		120
		③精神障害の障害特性と職業的課題		60
		④障害者就業・生活支援センターにおける支援方法等(事例紹介)		120
		⑤身体障害・高次脳機能障害の障害特性と職業的課題		60
		⑥障害者就業・生活支援センターにおける支援方法等(事例紹介)		120

3	就業支援におけるケアマネジメント	①ケアマネジメントの理念	講義	120 ～ 180
		②就労支援のプロセスと就業支援担当者の役割		
		③職業準備性の考え方		
		④アセスメント方法		
		⑤障害者就業・生活支援センターにおけるケアマネジメントの実際		

4	労働関係法規の基礎知識	①労働基準法、最低賃金法等の基礎知識	講義	60 ～ 120
---	-------------	--------------------	----	----------------

【追加・変更】

1	障害者雇用の現状及び障害者雇用施策の概要と支援センターの役割	① 障害者雇用促進法の理念	講義	120
		②障害者雇用の現状と障害者雇用施策の概要、 最新の施策動向		
		③障害者就業・生活支援センターの位置づけ、機能、役割等		

2	障害特性と職業的課題	①知的障害・発達障害の障害特性と職業的課題、 合理的配慮に関する事例	講義	60
		②障害者就業・生活支援センターにおける支援方法等(事例紹介)		120
		③精神障害の障害特性と職業的課題、 合理的配慮に関する事例		60
		④障害者就業・生活支援センターにおける支援方法等(事例紹介)		120
		⑤身体障害・高次脳機能障害・ 難病 の障害特性と職業的課題、 合理的配慮に関する事例		60
		⑥障害者就業・生活支援センターにおける支援方法等(事例紹介)		120

3	就業支援における ケース マネジメント	① ケース マネジメントの理念	講義	120 ～ 180
		②就労支援のプロセスと就業支援担当者の役割		
		③職業準備性の考え方		
		④アセスメント方法		
		⑤ 就労継続のための職場定着支援		
		⑥障害者就業・生活支援センターにおける ケース マネジメントの実際		

4	労働関係法規の基礎知識	① 労働契約上の留意点 (労働基準法、労働契約法、最低賃金法等)	講義	60 ～ 120
---	-------------	---	----	----------------

※1 赤字は、新規に追加する科目・内容。

※2 下線部は、基礎的研修と重複する内容を含んでおり、当該内容を研修内容から省略することは可能であるが、その場合でも、同じ又は関連する科目の中で簡単に復習することや概要を説明するなど、就業支援担当者に必要な内容であると認識させることが望ましい。

就業支援担当者研修のモデルカリキュラム

【現行】

	科目	内容	形態	分
5	関係機関との連携と地域ネットワークの活用	①関係機関の役割・機能	講義 G 討議	120
		②地域ネットワークの構築と連携による支援		180

6	企業における雇用管理の実際	①企業経営の基礎や企業の視点	講義 見学	120
		②企業における障害者雇用の考え方と雇用管理 企業の支援ニーズと支援者に求めること		
		③障害者雇用の現場見学		

7	事業主支援の基礎理解	①事業主支援の実施方法、実施上の留意事項等	講義	60
		②企業担当者とのコミュニケーションの取り方		120

8	ケースから学ぶ就労支援プロセスの実際	①就労支援の一連のプロセスを含むモデル事例のケーススタディ (支援の流れと各支援内容、制度の活用の仕方、障害者就業・生活支援センターの関わり方、関係機関の連携の仕方等を学ぶ)	事例 検討	120
				180

【追加・変更】

5	関係機関との連携と地域ネットワークの活用	①地域アセスメント（地域資源の網羅的な把握（障害特性に応じた支援機関、主要機関等）、地域における支援ニーズの把握、地域における役割の理解）	講義 G 討議	120
		②地域ネットワークの構築と連携による支援（事例紹介）		
		③障害福祉サービスや特別支援教育との関係		

6	企業における雇用管理の実際	①企業経営の基礎や企業の視点	講義	120
		②企業における障害者雇用の考え方と雇用管理 企業の支援ニーズと支援者に求めること		
		③障害者の能力開発・キャリア形成		
		④企業における雇用管理事例紹介（支援者が関係する事例、最新の施策動向に応じた事例）		

7	事業主支援の基礎理解	①事業主支援の実施方法（職域開拓と職務の再構成、ナチュラルサポートの形成等）、実施上の留意事項等	講義	60
		②企業担当者とのコミュニケーションの取り方		120

8	ケースから学ぶ就労支援プロセスの実際	①就労支援の一連のプロセスを含むモデル事例のケーススタディ (支援の流れと各支援内容、制度の活用の仕方、障害者就業・生活支援センターの関わり方、関係機関の連携の仕方等を学ぶ)	事例 検討	120
				180

※1 赤字は、新規に追加する科目・内容。

※2 下線部は、基礎的研修と重複する内容を含んでおり、当該内容を研修内容から省略することは可能であるが、その場合でも、同じ又は関連する科目の中で簡単に復習することや概要を説明するなど、就業支援担当者に必要な内容であると認識させることが望ましい。

就業支援スキル向上研修・主任就業支援担当者研修 のモデルカリキュラム

別添2-2

【現行】

【追加・変更】

〔スキル向上研修〕

	科目	内容	形態	時間
1	職業カウンセリングの理論と実践	職業カウンセリングの理論と技法について習得する。	講義 演習	2~3
2	アセスメント技法の理論と実践	ケアマネジメントにおけるアセスメントの理論と技法について習得する。	講義 演習	8
3	職場における支援技法	ジョブコーチによる支援技法や事業主に関する支援技法を理解する。	講義 事例 検討	2
4	プレゼンテーション技術	企業担当者等との面接場面においてわかりやすく効果的に説明するプレゼンテーション技術について講義と演習により習得する。	講義 演習	2
5	ケースから学ぶ障害者就業・生活支援センターの支援の実際	受講者の支援事例によるケーススタディを行い、支援の振り返りと課題の共有を行う。	事例 検討	6~7
6	支援の現状と課題	受講者のバズセッションにより支援の現状を振り返り、受講者各自が今後の課題改善について考える。	G 討議 レポ ート	2

	科目	内容	形態	時間
1	職業カウンセリングの理論と実践	職業カウンセリングの理論と技法について習得する。	講義 演習	2~3
2	アセスメント技法の理論と実践	ケース マネジメントにおけるアセスメントの理論と技法について習得する。	講義 演習	8
3	職場における支援技法	ジョブコーチによる支援技法や事業主に関する支援技法を理解する。	講義 事例 検討	2
4	プレゼンテーション技術	企業担当者等との面接場面においてわかりやすく効果的に説明するプレゼンテーション技術について講義と演習により習得する。	講義 演習	2
5	ケースから学ぶ障害者就業・生活支援センターの支援の実際	受講者の支援事例によるケーススタディを行い、支援の振り返りと課題の共有を行う。	事例 検討	6~7
6	支援の現状と課題	受講者のバズセッションにより支援の現状を振り返り、受講者各自が今後の課題改善について考える。	G 討議 レポ ート	2

〔主任就業支援担当者研修〕

	科目	内容	形態	時間
1	主任就業支援担当者の役割	主任就業支援担当者としての役割、マネジメント方法、地域ネットワークの構築等について理解する。	講義 意見 交換	3~4
2	事業主へのコンサルテーション	企業の支援ニーズ等について理解するとともに、障害者雇用に向けた事業主へのコンサルテーションを理解する。	講義 演習	1~2
3	スーパービジョン	スーパービジョンの目的・方法等を理解し、スーパーバイザーの心得、スーパービジョンの技法等について習得する。	講義 演習	3~4
4	ケースから学ぶ障害者就業・生活支援センターの支援の実際	受講者の支援事例によるケーススタディを行い、スーパービジョンを受ける。	事例 検討	3~4

	科目	内容	形態	時間
1	主任就業支援担当者の役割	主任就業支援担当者としての役割、マネジメント方法、 職員の人材育成 、地域ネットワークの構築等について理解する。	講義 意見 交換	3~4
2	事業主へのコンサルテーション	企業の支援ニーズ等について理解するとともに、障害者雇用に向けた事業主へのコンサルテーションを理解する。	講義 演習	1~2
3	スーパービジョン	スーパービジョンの目的・方法等を理解し、スーパーバイザーの心得、スーパービジョンの技法等について習得する。	講義 演習	3~4
4	ケースから学ぶ障害者就業・生活支援センターの支援の実際	受講者の支援事例によるケーススタディを行い、スーパービジョン、 支援事例の言語化、支援手法の共有等（支援事例を客観的・論理的に説明し、支援とその効果の因果関係を分析、支援手法・ノウハウとして共有できるよう言語化する） を行う。	事例 検討	3~4

※ 赤字は、新規に追加する科目・内容。